

科目名	教育原理					担当者名	中田麗子
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	26Y22A01	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	本授業では、「教育とは何か」という根本的な問いから出発し、特に乳幼児期に焦点を当てながら教育を構成する諸要素、教育の理念や歴史、子ども観や教育思想、教育制度や現代的課題を取り上げ、今日の教育・保育の在り方を考える。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで自明とってきた教育・保育について問いを持つ姿勢を身に付ける。</li> <li>・教育に関する基本的概念や用語を理解し、自分の言葉で説明できる。</li> <li>・教育の主要な歴史や思想について理解する。</li> </ul>						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	「教育原理」の授業概要					
	2	教育について考える					
	3	教育を構成するものについて考える①遊びと学び					
	4	教育を構成するものについて考える②環境					
	5	教育を構成するものについて考える③子どもの発達					
	6	教育を構成するものについて考える④教育者					
	7	教育の理念と歴史①教育の系譜					
	8	教育の理念と歴史②子ども観					
	9	教育の理念と歴史③教育思想					
	10	教育の理念と歴史④教育制度					
	11	教育の現代的課題について考える①気になる子ども					
	12	教育の現代的課題について考える②幼小接続					
	13	教育の現代的課題について考える③グローバル化時代の公教育					
	14	グループワークの発表					
15	授業のまとめ						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		授業態度	授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか			45%	
		課題レポート				55%	
教科書	福元真由美編『はじめての子ども教育原理』（有斐閣ストゥディア） 文部科学省『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 厚生労働省『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）						
参考図書	適宜指示する						
準備学習	適宜指示する						
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	保育原理					担当者名	中野 明子
	保育士（必修）						
ナンバリング	26YU22A02	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の方法や内容の基礎的考え方を理解する</li> <li>・ 現代保育に至るまでの歴史的変遷を理解する</li> <li>・ 多様化社会での様々な配慮を理解する</li> <li>・ 諸外国の保育の現状を理解する</li> <li>・ 保育者としての専門性と質向上の必要性を理解する</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の保育の目標、方法、内容、特性や、現在の保育に至るまでの歴史的背景など、保育に関する基本的専門的な知識や考え方を理解する。</li> <li>・ 現代の保育における課題を理解し、自ら解決策を考えようとする意識を持つ。</li> </ul>						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	保育の理念と概念について					
	3	子どもの最善の利益と子ども家庭福祉					
	4	保育の社会的役割と責任について					
	5	保育に関する法令と子ども・子育て支援新制度について					
	6	保育の実施体系について					
	7	保育所保育指針と保育所保育に関する基本原則について					
	8	保育における養護について					
	9	保育の目標と内容について					
	10	保育の環境と方法について					
	11	保育の過程とその循環について					
	12	保育の思想と歴史について					
	13	日本の保育の現状と課題について					
	14	諸外国の保育の現状について					
15	授業のまとめ						
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準				割合	
	授業の振り返り	小テスト、あるいは振り返りレポートの提出				40%	
	授業態度	授業への積極的参加、予習復習（反転学習）の励行				20%	
	提出物	課題等の内容、時間の順守				20%	
	最終テストまたはレポート	定期テストあるいはレポートの評価				30%	

教科書	保育原理～はじめて保育の扉をひらくあなたへ～第2版」株式会社みらい 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』，厚生労働省 『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館） 内閣府 文部科学省 厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フ レーベル館）
参考図書	適宜指示する
準備学習	適宜指示する
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する
準備学習(予習・復習等) に必要な時間	2時間程度を推奨する
その他 留意事項	
実務経験と資格等	

科目名	保育者論					担当者名	中野 明子
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	26Y22A03	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	今、保育者に求められている倫理観及び資質・能力を概説し、保育者の地位、身分、服務、及び研修の制度を知り、理解を深める。また、連携が必要とされる専門機関や行政組織、制度について等を学び、保育者間で育んでいきたい力（同僚性や実践的能力、保護者支援等）についての学びを深める。						
到達目標	①乳幼児保育教育の意義と保育者の役割を理解する。 ②保育者に求められる資質・能力を理解する。 ③保育者の守るべきサービス及び、保育者と専門機関との連携の必要性を理解する。 ④保育者間の連携、協働について理解する。 ⑤保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。						
授業計画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	公教育の目的と教員の存在意義について					
	3	教職の職業的な特徴と教員の役割及び資質について					
	4	教員の職務内容とサービス上・身分上の義務について					
	5	保育者の役割と倫理について					
	6	保育士の制度的な位置付けについて					
	7	保育者の専門性について					
	8	保育士の資質と能力について					
	9	養護及び教育の一体的な展開について					
	10	家庭との連携と保育者に対する支援について					
	11	保育者の連携と協働（職員間及び関係機関等）について					
	12	保育者の連携と協働（専門職間及び専門機関）について					
	13	保育者の資質向上とキャリア形成について					
	14	保育者の資質向上のための研修と学び続ける意味について					
	15	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	レポート及び感想文	課題は授業内容に沿って捉えたこと理解を深めた内容について等記述				30%	
	授業態度	グループディスカッション等に意欲を持って参加しているか評価				10%	
	試験	筆記試験。保育者の役割等の理解力を問う				60%	
						%	

教科書	今に生きる保育者論 第4版 著者名：編集代表 秋田喜代美・中野明子 発行所：株式会社みらい
参考図書	「保育者のための外国人保護者支援の本」かもがわ出版
準備学習	次回のシラバスを確認。教科書および関連する報道等に関心を持ち、授業に臨むこと。
課題等に対するフィードバック方法	授業で課した課題(レポート等)は作成し提出。返却時にコメントを添え、学びに繋げていく。
準備学習(予習・復習等) に必要な時間	1～4時間を奨励します。
その他 留意事項	
実務経験と資格等	福島めばえ幼稚園教諭・横浜市認可保育園園長・福島学院大学短期大学部保育学科にて授業担当。(保育士・幼稚園教諭・保育実習指導者認定)

科目名	保育内容総論					担当者名	佐竹 貴明
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	26Y22A04	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	1、保育内容とは何かについての理解を深める。 2、保育の構造、保育や保育内容の歴史について学ぶ。 3、保育内容の展開と、記録を通して子どもを理解する方法について学ぶ。 4、さまざまな保育について学ぶ。						
到達目標	1、乳幼児期の子どもと、その育ちについて理解する。 2、保育内容について、その歴史、計画、展開について理解する。 3、乳幼児期の子どもを理解する方法を習得する。 4、保育の様々な形態、方法、連携・接続などについて理解する。						
授業計画	回	内 容					
	1	現代の保育の基本と課題					
	2	遊びの中で5領域を見る					
	3	個と集団の発達を踏まえた保育					
	4	保育内容の歴史の変遷					
	5	保育者に求められる役割					
	6	現代の保育実践に学ぶ					
	7	遊びの中の学び					
	8	学びの振り返り 総括的グループワーク					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	授業の振り返り	コメントペーパー				50%	
	提出物						
	授業態度						
	最終テストあるいはレポート	最終レポート				5%	
教科書	特になし						
参考図書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 厚生労働省『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）						
準備学習	適宜指示する						
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項	【アクティブ・ラーニング】ワークとフィードバックを通して実施する。Zoom等を用いた遠隔授業を実施します。						
実務経験と資格等							